



防災出前授業「川の話・水資源の話」

7月2日(木), 呉市防災週間の取組の一環として, 呉工業高等専門学校 黒川岳司 教授を講師としてお招きし, 防災の専門家による「出前授業」を実施しました。広南地区や呉市では, 水害や土砂災害などの自然災害に備えることが大切で, 黒川教授からは, 川や水資源, 防災について専門的な立場からお話と実演をしていただきました。

もくりん防災リーダーの2年・吉中一柊さんは「川や水資源の役割だけでなく, 災害から命を守るために日頃から備えることの大切さについて, 改めて学ぶことができました。今日学んだことを, 自分自身や家族, 地域の防災につなげていきたいと思います。」とお礼の言葉を述べました。



「授業参観(7月)」 「広南寄席」

7月4日(土), 授業参観と「広南寄席」を実施しました。授業参観では, 1学年が「ビブリオトーク」の発表会を, 2学年が「キャリア・スタート・ウィークに向けて」, 事業所への電話のかけ方の練習を保護者と一緒に, それぞれ行いました。また, 3学年は, 講師として呉市在住の福岡都喜子様と大須賀恭子様をお迎えし, 広地区の空襲体験のお話を保護者と一緒にうかがいました。



1年



2年



3年

参観授業の後, 1学年と2学年は「広南寄席」を行いました。専徳寺の講堂を会場としてお借りし, 保護者や地域の方々と「落語」を鑑賞しました。まず, 前座として, 昨年度に取り組んだ2年・三谷拓夢さんが「つる」を, 続いて, 広南中学校落語指導講師のジャンボ衣笠様, 満福亭おかわり様が「平林」「化け物つかい」「長短」を, それぞれ口演されました。今回の口演での3演目は, 今年度, 1学年が「落語貢献 PROJECT」として取り組んでいく演目です。



2年・三谷さん



ジャンボ衣笠様



満福亭おかわり様

「7.9 広南防災の日」祈念式

7月9日（木）、「7.9 広南防災の日」祈念式を行いました。式では、代表の児童生徒が折り鶴を「誓いの碑」に献納し、昭和42年7月9日の集中豪雨で犠牲となられた方々へ黙とうを捧げました。続いて、地域の防災リーダーの石田研吉様、三島邦彦様から、当時の災害や地域の防災の歩みについて、それぞれお話を伺い、「災害の記憶を風化させないこと」「命を守る行動を自ら考え実践すること」を話されました。最後に、児童生徒全員で「尊い命を忘れない 広南の未来のために」と声を合わせ、防災への決意を新たにしました。

式の後、もくりん防災リーダーの2年・比嘉埜乃さんは「石田さんや三島さんのお話を聞いて、改めて災害は恐ろしいものだ実感した。『山津波がやってきた』や『友達が亡くなった』など、信じられない話がたくさんあった。過去にあった事実だということがとても恐ろしかった。自分や大切な人の命を失わないために、普段から避難場所や避難経路を確認しておきたい。」と振り返っていました。



“届けよう、服のチカラ” プロジェクト

7月16日（木）、ユニクロ・GUより講師をお招きし、家庭等で着られなくなった「子ども服」を集めて、世界中の難民キャンプで暮らす子どもへ届ける「“届けよう、服のチカラ” プロジェクト」についての出前授業を実施しました。まだ十分に着られる「子ども服」でも、日本ではサイズが合わなくなったり好みが変わったりして着なくなることがあります。一方で、世界には、紛争や災害などの影響で着る服にも困っている子どもが大勢います。この「プロジェクト」では、みんなが持ち寄った「子ども服」をユニクロとGUの支援活動を通して難民キャンプへ届けます。服を送るだけでなく、「世界にはどのような課題があるのか」「自分たちにできる支援は何か」を考え、国際理解・国際貢献について学ぶことも目的です。広南中学校生徒会が「プロジェクト」に参加し、「子ども服」回収キャンペーンを行います。地域の皆様、ご協力をお願いします。



スクールカウンセラー・カウンセリングのお知らせ(9月～10月)

9/4(金) 9/11(金) 9/18(金)
10/2(金) 10/16(金) 10/30(金)

教頭、養護教諭、担任等に、気軽に、お問い合わせください。